



新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 266

R6. 6月号

★新屋図書館だよりは、今年度より隔月で発行することと致しました。今後も引き続きご愛読ください★

大森山動物園・新屋図書館コラボ企画

「おはなしのしずく」出張おはなし会&動物園ミニツアー



大森山動物園に、新屋図書館の読み聞かせボランティア「おはなしのしずく」が出張します。動物たちがたくさん登場するおはなし会です。おはなし会の後は、動物園の飼育員さんと一緒に、お話に出てきた動物たちに会いに行くミニツアーを行います。

日時：6月15日(土) おはなし会 13:30~14:00

※雨天時は屋内で、飼育員さんが動物たちの紹介をします。

ミニツアー 14:00~15:00

会場：大森山動物園 資料館(王者の森近く) 参加費：動物園入園料730円(高校生以下無料)

対象：乳幼児から小学校低学年児童とその保護者 先着30組 申込み不要 直接会場へ

★ミニツアーはどなたでも参加できます。13:50までに資料館前の受付にお集まりください。



子ども映画鑑賞会 『すみっコぐらし』 ~青い月夜のまほうのコ~

開催日：7月27日(土) *2回上映します

時間：①10:30~11:40

②14:00~15:10

会場：研修室

参加費：無料

申込み：7月13日(土) 午前10時~ 先着各回30名

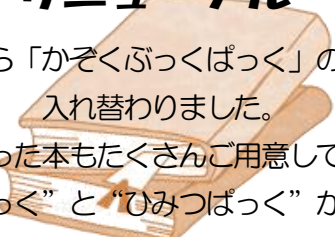
※電話または開館時にカウンターで受付

「かぞくぶっくぱっく」 リニューアル

6月から「かぞくぶっくぱっく」の中身が入れ替わりました。

新しく入った本もたくさんご用意しています。「みえるぱっく」と「ひみつぱっく」があります。

テーマを選んでお楽しみください。



6・7月のおはなし会(定例)

6月1日(土) 14:00~14:30

7月6日(土) 14:00~14:30

ケロケロケロ ~絵本・手遊び~

七夕 ~絵本・七夕飾りの紹介~

(おはなしのへや・幼児~小学生)

(おはなしのへや・幼児~小学生)

6月11日(火) 10:30~10:50

7月9日(火) 10:30~10:50

おさんぽ いっち、に ~紙芝居・ふれあい遊び~

いろいろ ~絵本・パネルシアター~

(おはなしのへや・赤ちゃん~)

(おはなしのへや・赤ちゃん~)



新刊案内

増補新版 地図で読む戦争の時代 描かれた日本、描かれなかった日本
今尾 恵介／著

白水社 請求記号 210.6 (近代の日本史)

本書のテーマは、「地図で戦争の時代を読む」「戦争の時代の地図を読む」の2つです。植民地化された土地にあった日本風の地名、空襲で焼け野原になった閑散たる絵柄…。また、情報統制の痕跡など地図を通して戦争の時代を俯瞰し、当時の様々な事情を細やかに記しています。



ハルマキ100本ノック

島田 由美子／著

光文社 請求記号 596.22 (料理)

中華料理屋さん定番の「春巻」とは、作り方が少し違う「ハルマキ」。皮に糊付けせずに具材を巻き、「大さじ4」の油で揚げるだけで完成です。生ハムやお餅、ミニトマトなど、あらゆるものを巻いて作った100本の「ハルマキ」をご紹介します！



おうちにある材料で脳活性！

広告チラシで何つくる？ 材料0円で脳イキイキ！

ブティック社 請求記号 754.9 (紙工芸)

新聞の折り込みチラシや包装紙など、不要となった紙を材料に用いて作る手芸について紹介した1冊です。手先を使ってコツコツ形を作り出す作業には、脳を活性化させ、認知症などを予防する効果があるとか…。チラシを使ってクリエイティブなひとときを過ごしてみませんか？



はじめての着衣泳教室 海水浴、川遊び、プール、豪雨、津波など
水の事故から命を守る

岩崎 恭子／著

誠文堂新光社 請求記号 78 (水泳) 小学3年生～

もし予期せぬ水の事故に遭ったら？本書では水の事故から命を守るための着衣泳の方法やライフジャケットの正しい着用などがイラストで分かりやすく紹介されています。また、海やプールなどで遊ぶ前に注意すべきことについても学べます。夏を迎える前に読みたい1冊です。



図書館員のおすすめ本

書名	護られなかった者たちへ
著者名	中山 七里
出版社	NHK出版
所蔵	新屋、明德、土崎、イソップ、雄和 請求記号 Fナ (小説)



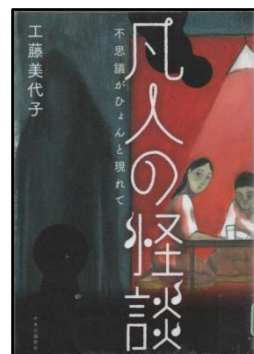
東日本大震災直後の避難所で出会った主人公たち。それぞれが抱えた過去と向き合いながら助け合ううちに、不思議な絆が生まれていきます。そして震災から9年後、猟奇的な殺人事件が発生したことを契機に、主人公たちの運命は大きな波に翻弄され…。震災により多くの人々が経済的に困窮し、福祉事務所への相談や生活保護の受給を最後の頼みとして命を繋げていく中、主人公とともに

絆を育んだ一人が悲惨な最期を遂げます。

「国の制度が悪いのか、福祉事務所の職員が悪いのか、それともどうすることも出来なかった自分たちが悪いのか…。」

それぞれの思いを胸に、抑えきれない憤りに突き動かされる主人公たちとともにストーリーは急展開し、驚きの結末を迎えます。著者が、自ら名付けた震災三部作の第一弾です。

書名	凡人の怪談 不思議がひょんと現れて
著者名	工藤 美代子
出版社	中央公論新社
所蔵	明德 請求記号 147 (怪談)



読後、あなたも異世界の存在を信じるかも？著者は不思議なものがうっすらと見える工藤さん。本書にはその実体験が綴られています。しかし、表紙やタイトルの印象とは打って変わり、登場するのは「かなりいい加減で不甲斐ないお化けたち」。クスッと笑える体験談が多く、ホラー初心者にもオススメです。

にゾッとしました。舞台は白内障手術の待合室。そこで一緒に手術の順番を待つ数人の患者たち。術後待合室から出ると…。ホラー好きな私でさえ、その違和感に鳥肌が立ちました。著者は怒った人間の方が怖いと語りますが、こんな経験は絶対にご免です…。

日常と異世界の狭間に潜む不思議なものたち。面白怖い世界を覗いてみてください！

でも「霞む瞳に見えたものは」の話には、非常

お酒の話題あれこれ・・・新屋ガラス工房とのコラボレーション企画・・・

新屋図書館倉庫棟にある「酒の資料コーナー」では、かつて新屋地区の主要産業であった酒について紹介する本や当時の酒造りで使われていた道具などを展示しています。

現在、新屋ガラス工房とのコラボレーション企画として、ガラス製品の展示を行っています。

タンブラーやぐい飲みなど、鑑賞はもちろん、思わず注いでみたくなる酒器やオブジェなど多彩な展示をお楽しみください。中でも竿灯の提灯グラスは、夏の暑い日にピッタリ。



酒やガラスに関する本の特別展示も行っていますので、ぜひ足を運んでみてください。

今、あなたへ・・・バードウォッチング・・・



新屋図書館の周りでは、野鳥を多く目にします。澄み切った可愛らしい声が聞こえてきますが、名前が分からなかったり、不思議な行動を目にする事も。そんな時『鳥のしぐさ・行動よみとき図鑑』（小宮 輝之／監修、KANZEN）が役立ちます。日本の鳥86種類の紹介と鳥のしぐさや行動を解説しています。『ゆかいな聞き耳ずきん』（石塚 徹／文、福音館書店）の作者は、その気になれば、誰でも鳥の声を聞き分けられるというのですが…。昔話のように鳥の言葉がわかると面白いでしょうね。そして、野鳥を身近で観察してみたい方は『とりをよぼう！』（大久保 茂徳／監修、ひさかたチャイルド）を読んで、家の窓から鳥を眺めてみては？新たな発見があるかもしれませんよ。



また、世界に目を向けるとこんな鳥も。『世界の国鳥』（アフロ／写真、青幻舎）では、気高きシンボルとして国旗や紙幣などに印字された国民に親しまれている国鳥を、美しい写真で見ることが出来ます。

図書館員のひとりごと

今年の4月から新屋図書館に赴任しました。図書館というと、自分の中では大学受験のために勉強をした場所で、1年のうちに200日ほど通ったなじみのある場所です。しかし当時は、本を読んだり、イベントに参加するなどは全くなく、図書館は静かに勉強をする場所でした。

これからは、来館してくれる人たちのためにゆっくり安心して読書ができるような場所にできるよう、また図書館の担う役割などについても考えながら日々頑張っていきたいです。

(K)

この4月から新屋図書館に赴任してきました。みなさまどうぞよろしくお願いします。

新屋図書館に勤務が決まった時、最初に思ったことは「私たどり着けるのか…？」でした。かなりの方向音痴で高校時代には秋田西武から一歩外に出た瞬間に「秋田駅ってどっち？」と聞いて友達を唾然とさせたほどです。そして今まで何回かチャレンジしましたが一度もたどり着けたことがなく、事前に練習したものの美大付近をぐるぐる巡って・・・を繰り返していました。でも、初日無事にたどり着くことができて一安心！これからどんどん新屋について発見できるのを楽しみにしております。

(S)